

# 第18回

## 世界スポーツチャンバラ 選手権大会

於・神奈川県立武道館

日時 平成四年十二月二十日(日)

主催 国際スポーツチャンバラ協会

全日本護身道連盟

アメリカのミンガンから、フロリダからノースカロライナから、韓国から、オーストラリアから、ペルーから、イランから、エジプトから、スリランカから多数の選手が集まった。

迎え撃つのは全国津々浦々から我こそと集まった日本の剣豪達、槍を持ち、なぎなたを持ち、二刀を持ち、小太刀、長剣を持ち果ては二メートル以上の棒を持ち、世界戦の火ぶたは切られた。とくに中近東の選手は半月刀を現在でも振り回しているお国柄であり、やはり卓越した使術はある。

アングロサクソン系のフアイティングスピリットは眼を見張るものがあり、ヨーロッパは長い歴史を戦い抜いた実績があり、それぞれが純粹に戦いをいどんでくる。これが世界のスポー

ツチャンバラである。残念ながら実践経験の少ない日本の古武道系は全て前半で敗退を喫してしまっ

た。日本剣道ですら足の防衛が出来ず上立進出はできなかった。

団体戦女子では決勝はアメリカと日本となったが、大将の二刀流が足打ちでかろうじてタイトルをとった。

アメリカのミッシェル選手やバーバラ選手の小太刀、長剣の動きは素晴らしかった。特にアメリカンポリス(現職)の身長195センチ、105キログラムの相撲の横綱クラスのデニース、フリチャー選手は警察の武道教官の実績を充分発揮した。体重に似合わず軽快な動きの二刀は対戦者を圧倒した。二年連続出場の際のミンガンのパウルクスキ選手は銃剣道団体神奈川県五年連続大将で出場の実績のある土屋孝一選手と互角以上に戦い、息詰まる日米の熱戦は観客が万雷の拍手で会場はわいた。



写真上、棒(2m10cm)対槍(2m10cm)の対戦、左、日本代表の神奈川山本六段、右、韓国代表の金榮燮選手。山本選手(日本)の棒の裏打(逆手)が金選手(韓国)の横面をアッパー気味にとらえたところ。



写真下、槍対なぎなたの対戦、左、なぎなた、日本の土屋選手、右、槍、アメリカのポー選手。

に払い世界一が決定した。(記者 小林)

### 〔成績〕

☆個人戦

◆小太刀無段の部①相園

昭(静岡)②高橋フレディ

(静岡)③神谷秀行(東京田

淵タイシユニクスUSA)

◆小太刀初段の部①岡田

靖司(愛知)②石渡和史(神

奈川関城)③宮坂善之(藤沢)

高橋孝司(座間)

◆小太刀二・三段の部①

佐々木誠(静岡)②小松原満

(田淵)③門川治郎(田淵)望

月政人(馬込東)

◆小太刀四段以上の部①

高橋増司(栃尾)②木村吉一

(神奈川)③片岡一郎(栃尾)

田辺賢一(本部)

◆小太刀女子の部①田辺

恵(本部)②山中奈々(豊橋)

③バーバラヒューマ(USA)

西川由希子(栃尾)

◆長剣無段の部①吉沢慶

(二長野)②松田和仁(京都)

③谷岡靖久(町田)豊沢寛周

(宮崎)

◆長剣初段の部①道仙茂

(関城)②水原孝(馬込東)③

小牟田大介(座間)大道寺直

人(座間)

◆長剣二段以上の部①望

月政人(馬込東)②西川完

(栃尾)③音龍比古(田淵)宮

林勝見(神奈川夢道館)

◆長剣女子の部①西川由

希子(栃尾)②石原さな枝

(田淵)③梅沢絵美(座間)広

沢英里(湘南)

◆槍の部①山辺北斗(馬

込東)②青柳裕(馬込東)③

小高芳久(馬込東)横山久道

(夢道館)

◆二刀の部①青木雅哉

(馬込東)②山内康(葛美中)

③佐藤典宏(名古屋)片岡一

郎(栃尾)

◆棒・杖の部①横山久道

(夢道館)②鴻田征彦(田淵)

③山本郁雄(座間)黒木源章

(宮崎)

◆団体戦

◆新鴻栃尾

準優勝 神奈川関城A

3位 豊橋童夢殿

3位 神奈川関城B

◆女子団体戦

優勝 本部道場

準優勝 アメリカ

3位 座間

3位 長野

◆部優勝

小太刀①佐々木誠

長 剣①望月政人

優勝 新鴻栃尾

準優勝 神奈川関城A

3位 豊橋童夢殿

3位 神奈川関城B

◆女子団体戦

優勝 本部道場

準優勝 アメリカ

3位 座間

3位 長野

◆部優勝

小太刀①佐々木誠

長 剣①望月政人

槍 ①山辺北斗

棒 ①横山久道

二刀①青木雅哉

◆統一全体総合優勝

優勝 山辺北斗(槍)

二位 佐々木誠

(小太刀)

三位 横山久道(棒)

◆エクセレントジャッジ

山中佳巳

(国際スポーツチャンバラ

協会通信)